和泉市新庁舎整備基本計画（案）概要版

現庁舎は、耐震性や老朽化への対応といった建物自体の安全性に関わる課題のほか、庁舎の分散化、狭あい化、ユニバーサルデザインへの対応、交通アクセス渋滞などの課題を抱えています。

これらの課題を解消するため、平成 29 年 6 月に「和泉市新庁舎整備基本方針」を策定し、新庁舎の早期建設を進めています。

このたび、新庁舎の設計・施工を進めるうえで基本的な指針となる「和泉市新庁舎整備基本計画（案）」を作成しましたので、その概要をお知らせします。

1．新庁舎の整備方針

新庁舎の整備方針として、以下の 3 つを掲げています。

市民の安全安心を支える庁舎

市民の安全安心な暮らしを支えるため、必要な耐震性能と耐久性を兼ね備えた防災拠点として整備するとともに、個人情報をはじめとした行政が保有する機密情報を保護するため、セキュリティに配慮した庁舎を整備します。

市民にやさしい利便性の高い庁舎

誰もが利用しやすい、わかりやすいユニバーサルデザインに配慮し、効率的に手続きができる、市民にとって利便性の高い庁舎をめざします。

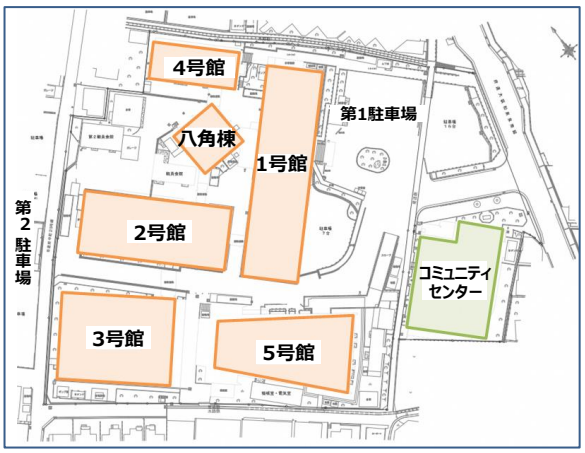
環境にやさしいライフサイクルコストに配慮した庁舎

自然エネルギーを最大限活用し、環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルコストに配慮した高い経済性を持った庁舎をめざします。

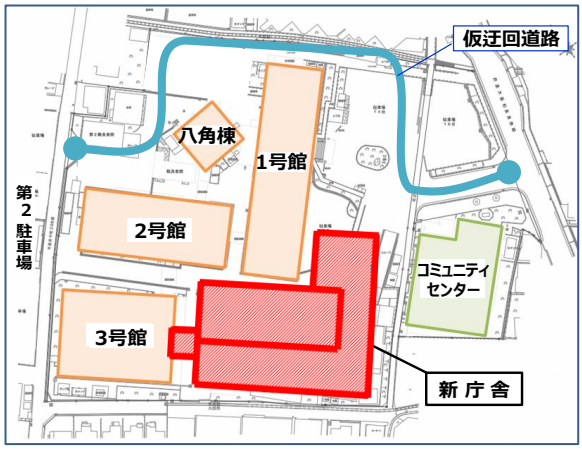
2．新庁舎の整備手順

整備手順については、市役所 4 号館及び 5 号館（旧市民会館）を撤去した後、仮迂回道路を整備し、5 号館跡地に新庁舎を建設します。

新庁舎建設後、1 号館、2 号館、八角棟を撤去し、立体・平面駐車場を整備します。



現況



新庁舎建設中の配置

なお、新庁舎建設期間中、4 号館に配置している部署（新病院計画室除く）は、撤去前に既存庁舎に移転し、新病院計画室と会議室の一部は現市立病院南館に仮移転します。

3．新庁舎の規模

新庁舎の延床面積は、13,000 ㎡とします。
なお、引き続き、基本設計で設定規模の精度を高めます。

4．駐車場及び駐輪場の規模

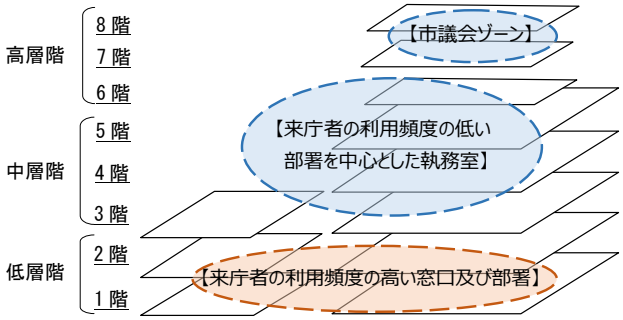
駐車場は、約 300 台を確保します。
駐輪場は、約 105 台、バイク置場は、約 20 台を確保します。

5．新庁舎の配置計画

新庁舎は、8 階建てを想定しており、各階の構成は、おおむね以下のように配置します。
なお、階数については、庁舎の形状、建設費・工事期間などを踏まえ、基本設計において、決定します。

低層階(1 階～2 階)

○低層階には、来庁者の利用頻度の高い窓口及び部署、福祉関係などの窓口を配置します。
○市民交流スペースや情報発信コーナーを配置します。



中高層階(3 階～8 階)

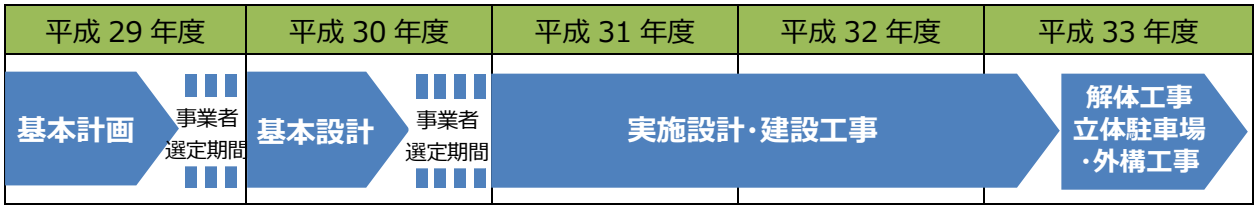
○最上階には、議場を配置します。
○中高層階には、来庁者の利用頻度の低い部署を中心に配置します。
○中層階には、緊急時の対応に配慮し、危機管理担当や災害対策本部室を配置します。

その他

○3 号館は新庁舎と一体的に活用します。
○飲食・物販機能の導入を検討します。
○スムーズな人の流れとセキュリティに配慮し、来庁者の動線と業務上の動線を分離します。

6．事業スケジュール

事業スケジュールは以下のとおり、計画しています。



※今後、設計を進めるなかで、スケジュールに変更が生じる可能性があります。

7．概算事業費及び財源

上記期間中の概算事業費は、約 85.6 億円と試算しています。
財源については、国庫補助金、地方債、庁舎建設基金及び一般財源を計画しています。

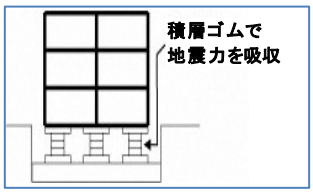
８．新庁舎の機能及び性能

「１．新庁舎の整備方針」を踏まえ、新庁舎に以下のような機能を導入します。
（基本計画に記載している整備例を抜粋して記載しています。）

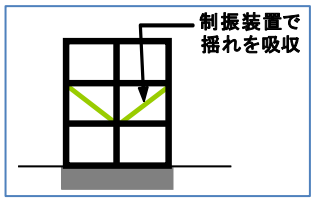
市民の安全安心を支える庁舎

	具体的な整備例
防災拠点機能	・災害対策本部として機能するよう、建物は十分な耐震性能を確保します。 ・さらに大地震発生時の建物の揺れを抑えることができる免震装置や制振装置などの導入を検討します。 ・3 日間（72 時間）稼動できる非常用自家発電設備などを整備します。
セキュリティ機能	・庁舎内への不正侵入を防ぐため、重要度に応じたセキュリティ区画を設定します。 ・庁舎内や駐車場に防犯カメラを設置します。

（整備イメージ）



免震装置のイメージ



制振装置のイメージ

市民にやさしい利便性の高い庁舎

	具体的な整備例
窓口機能	・市民利用の多い窓口を低層階へ配置し、関連する窓口を近くに配置するなど、各種手続きなどにかかる動線と時間を短縮します。 ・来庁者が目的とする窓口に迷わずに行けるよう、入口付近に総合案内を設置します。 ・効果的なサイン表示など案内機能を充実します。 ・来庁者が安心して相談や申請ができるよう、プライバシーに配慮した窓口カウンターや相談室を設置します。 ・ゆとりある待合スペースを確保します。
執務機能	・柔軟にレイアウト変更ができるオープンフロアを導入します。 ・複数の会議室を集約し、可動式の間仕切りにより、多様な使い方ができるように整備します。
ユニバーサルデザイン	・車いすが快適に通ることができる明るく広い通路を整備します。 ・窓口の色分けや動線上へのサイン表示などを設置します。 ・サイン表示は窓口番号の付設や、ピクトサイン、カラー表示、外国語の併記など、誰にでも分かりやすい表記とします。 ・音声案内はトイレへの案内など、必要に応じて整備します。 ・誰でも不自由なくトイレを利用できるよう、各フロアに多機能トイレを整備します。 ・乳幼児などを連れた来庁者が安心して利用できるよう、キッズスペースや授乳室を整備します。

総合案内（豊島区）

窓口カウンター（伊予市）

ピクトサイン（郡山市）

キッズスペース（伊予市）

（整備イメージ）

	具体的な整備例
情報発信機能	・議会中継や行政情報、まちの魅力情報などを見ることができるモニターを入口付近に設置します。 ・地元産材である『いずもく』などを利用し、市民が愛着を持てるような空間づくりを検討します。

情報発信コーナー（海老名市）

	具体的な整備例
市民交流・飲食物販機能	・来庁者が気軽に立ち寄れる市民交流スペースを設置します。（臨時窓口の設置などにも多目的に活用できるスペースとして整備） ・来庁者や職員が利用できる食堂や売店などの導入を検討します。

市民交流スペース（平塚市）

	具体的な整備例
福利厚生機能	・職員休養室、休憩室や更衣室などを適切に配置します。

	具体的な整備例
駐車場・駐輪場機能	・駐車場は原則、有料とし、適切な規模の立体駐車場及び平面駐車場を整備します。 ・車いす使用者用駐車区画やゆずりあい駐車区画を整備します。 ・来庁者の安全を確保するため、歩行者用通路を設置します。 ・視覚障がい者誘導用ブロックを設置します。

ゆずりあい駐車区画

環境にやさしいライフサイクルコストに配慮した庁舎

	具体的な整備例
環境への配慮	・太陽光発電や雨水利用設備による自然エネルギーなどを活用した設備の導入を検討します。 ・消費電力の少ない照明や空調設備機器の導入を検討します。 ・自然採光や自然換気、屋上緑化の導入を検討します。

太陽光発電パネル（平塚市）

	具体的な整備例
ライフサイクルコストの縮減	・維持管理がしやすく、将来、修繕などを行うことを前提とした構造を検討します。

議会機能

	具体的な整備例
議会機能	・議会フロアは、独立性を確保し、高層階へ配置します。 ・議場や委員会室には音響・映像設備など、拡張性の高い環境整備を検討します。 ・傍聴席は車いす対応が可能な広いスペースを確保し、親子傍聴席の設置を検討します。

映像設備を活用した議場（佐野市）

※上記で示す具体的な整備例を含め、導入する機能について、
設計段階において検討を進めます。

お問い合わせ　和泉市 市長公室政策企画室（庁舎整備担当）
TEL 0725-99-8102